公表

事業所における自己評価総括表 放課後等デイサービス

○事業所名	いろは		
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和7年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和7年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが楽しみに、安心して通所していると高評価をいただく。	児童の活動の様子や行事内容に興味・関心を持ってもらえるようHPやInstagramを用いて毎月お知らせなどを更新している	今後、行事の内容について細かく詳細をいつでも確認、閲覧できるように行程表もHPにて掲載を行う
2	個別机を設置し、子どもたちの学習時間への集中力の維持や向上につながるよう構造化を図っている	学習時間や個別の活動など集中して取り組めるよう個別机の設置や視覚的なものを掲示し、環境づくりに努めている	今後必要児童が利用いただく機会があった場合に、バリアフリーの強化を図る
3	保護者との情報共有と連携	毎日児童の様子をサービス提供記録簿に個々の課題やニーズに沿った内容を重点的に記載している また、送迎時や電話、懇談で情報共有を行い、共感支援や統一支援に努めている	今後ニーズがあれば、年に1回の保護者会などの交流機会を増やすことを検討

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動のスペースや職員の配置数などの基準は満たしているが、中の様子は分からない	実際の児童の過ごしている環境が分からない	今後ニーズがあれば、見学機会を設けるなど検討
2	バリアフリー化が充実していない	バリアフリー化出来ている場所が少ない	今後対象児童が出た場合に、入口の段差の排除や階段のスロープ、トイレの手すりの設置などを検討
3	地域との交流が少ない	地域との交流できる機会が少ない	今後ニーズあれば、イベントなどの開催を行い地域と交流できる機会の提供を行う